

在日米国大使館支援プログラム



TOMODACHI サマー2012 英語研修プログラム

応募のてびき

TOMO
DACHI

派遣先：アメリカ合衆国

日程：2012年7月29日（日）～8月26日（日）

募集対象：岩手、宮城、福島、茨城県の高校生

募集人数：20名

応募締切：2012年3月7日（水）必着

公益財団法人 AFS 日本協会

1. AFSについて

◆ニューヨークにある国際本部(AFS Intercultural Programs, Inc.)を中心に、世界各国で高校生を中心とした交換留学などさまざまな異文化交流事業を実施している非政治的、非営利的、宗教色のない国際的な民間団体です。第一次、第二次世界大戦に戦場で傷病兵の救護にあたったアメリカ人ボランティアが組織した American Field Service (アメリカ野戦奉仕団)の奉仕活動に始まり、大戦終結後、戦争の悲劇を繰り返さないために、相互理解の重要性を認識し、交換留学制度を発足させました。現在、世界 50 以上の国と地域が加盟し、数多くのボランティア(ホストファミリー、ホストスクールや学生、社会人)により、年間約13,000 人の交流を実施しています。

1) AFS の理念

より公正で平和な世界の実現に必要な知識・能力・理解力を多くの人びとが身につけるため、さまざまな異文化と接する機会を提供し、多様性に満ちた世界において平和と相互理解を促進します。

2) 日本の AFS

1954 年、日本からの第 1 期生 8 人が渡米し、帰国後の 1955 年に AFS 日本支部が設立されました。後に AFS 日本協会に改組され、1980 年に文部省(現文部科学省)より財団法人の認可を受けて財団法人エイ・エフ・エス日本協会となり、2011 年に公益財団法人の認定を受けて公益財団法人 AFS 日本協会となりました。現在、年間・短期合わせて、世界約 50 か国から 1,000 人以上を受け入れ、日本から派遣する高校生と合わせて一年間に 1,500 人近い交流を実現しています。2004 年には多年にわたる国際交流への貢献が認められ、文部科学省より「国際交流功労者文部科学大臣表彰」を受けました。

2. TOMODACHI サマー2012 英語研修プログラムについて

1)「TOMODACHI」とは

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、東北地方に甚大な被害をもたらしました。アメリカ軍は、災害発生直後から「トモダチ作戦」を開始し、被災地での災害救助、救援、復興支援などを行いました。アメリカ軍と自衛隊が共同で実施した「トモダチ作戦」は、アメリカと日本の堅固な同盟関係の上になった日米の絆の強さを再認識させてくれました。「TOMODACHI」は、「トモダチ作戦」で再認識された日米の絆をさらに次世代につなげていくためにアメリカ大使館と米日カウンシル(米国非営利公益法人)の主導で設立されたイニシアチブです。

2)「TOMODACHI」のビジョン

「TOMODACHI」のビジョンは、夢を持ち、その実現に向け計画を立て、実行する日米の将来の世代、すなわち互いの文化や国を理解し、世界中で通用する技能と国際的な視点を備え、日米関係の将来に深く関わる「TOMODACHI 世代」を育成することです。

3)「TOMODACHI サマー2012 英語研修プログラム」とは

今回ご応募いただく「TOMODACHI サマー2012 英語研修プログラム」は、「TOMODACHI」イニシアチブの一環として、アメリカ大使館が全面的に資金援助し、公益財団法人 AFS 日本協会が行う 4 週間の夏期研修プログラムで、被災地域の高校生の皆さんを対象にしています。研修は、ワシントン DC 郊外の Sandy Spring Friends School (SSFS) 高校のキャンパス内にある寮で行われます。アメリカ大使館は、「TOMODACHI サマー2012 英語研修プログラム」の参加者が、異文化体験、英語研修、交流活動などを通じて国際的な視野を培い、将来の日米関係をさらに深め発展させていく「TOMODACHI 世代」の一員になってほしいと願っています。

3. プログラムの内容

国	対象	募集人数	プログラム期間	滞在形式	参加費
アメリカ合衆国	高校生 (出発時点で18才0カ月まで)	20名	2012年7月29日(日)～8月26日(日) (約1カ月間)	寮 英語研修	全額支援 (※)

※参加者が負担する費用: 海外旅行傷害保険(任意加入)、パスポート取得料、予防接種費用(必須)、滞在中の小遣い

- 1) 他国の AFS 生と一緒にアメリカの高等学校の寮に滞在します。
- 2) 授業のレベルは高く、「英語を学ぶ」だけでなく「英語で学ぶ」要素も多く取り入れられています。
- 3) 英語やアメリカに対する強い関心はもちろん、積極性やチャレンジ精神が求められます。

◆滞在方法

首都ワシントン DC から 30 キロほどのところにある、メリーランド州サンディ・スプリングの高等学校(Sandy Spring Friends School)の寮に滞在します。様々な国から集まった同年代の AFS 生たちと部屋をシェアしながらの集団生活となります。

※プログラム期間中は夏休みにあたるため、現地の高校生との交流はありません。また、ホームステイはありません。

◆語学研修

滞在先の学校の教室を使い、参加者の英語レベルに基づいた授業を行います。クラスには日本以外の国から参加している AFS 生もいます。アメリカの文化や政治、歴史について学ぶ時間や、さまざまなテーマに関するディスカッションをする時間が設けられており、宿題も課されます。

◆その他の活動内容

午後や夕方は、スポーツや料理、ゲーム等のグループ活動を通じて、参加生同士の交流を深めます。週末には、ワシントン DC やボストン観光をはじめとしたフィールドトリップが企画されています。

4. 応募資格

以下のすべての条件を満たす方

- 1) 東日本大震災および福島原発事故発生当時に被災地(※1)に居住又は在学していた者で、年齢が受入国の定める基準を満たしていること。
- 2) 受入国に渡航可能な旅券を有するか、取得予定であること。
- 3) 心身共に健康で受入国での生活に意欲的であること。2011 年度の欠席日数の合計が目安として 15 日以内であること(※2)。
- 4) 『AFS 理念(p2)』に賛同し、受入国との相互理解に寄与すると共に、受入国の文化や言語を積極的に学ぼうとする姿勢があること。
- 5) 英検準 2 級(アメリカ)、またはそれに相当する英語力を有すること(※3)。

※1 岩手、宮城、福島、茨城県の全域。

※2 けがや病気が完治し、留学生活に支障がない場合、震災、避難などによる欠席は考慮します。

※3 英検以外の資格をお持ちの方や、資格試験を受験したことのない方はご相談ください。

5. 応募方法とプログラムの流れ

1) 応募: 下記 5 点の書類をそろえて、AFS 日本協会までご郵送ください。

① TOMODACHI サマー2012 英語研修プログラム申込書(p9)

② 学校長推薦書(p7)

③ 作文(800 字程度)

今回ご応募された「TOMODACHI サマー2012 英語研修プログラム」は、「TOMODACHI」の一環として行われます。「TOMODACHI」のビジョンは、夢を持ち、その実現に向け計画を立て、実行する日米の将来の世代、すなわち互いの文化や国を理解し、世界中で通用する技能と国際的な視点を備え、日米関係の将来に深く関わる「TOMODACHI 世代」の育成をすることです。この「TOMODACHI」のビジョンを念頭においた上で、以下の 3 点につき述べてください。

◆あなた自身の震災の体験を踏まえて、この「TOMODACHI」が提供する今回のプログラムに参加したいと思った理由は何ですか？

◆今回の「TOMODACHI サマー2012 英語研修プログラム」に参加した経験が、あなたの将来の目標や希望を達成する上で、どのように役立つと思いますか？

◆あなたは、将来どのような形で、アメリカと日本の友好関係に貢献したいと思いますか？

④ 東日本大震災および福島原発事故発生当時に被災地に居住または在学していたことを証明するもの(在学証明書または住民票または生徒手帳のコピーのいずれか1つ)

⑤ 英語能力証明書(コピー)

※英検以外の資格をお持ちの方や、資格試験を受験したことのない方はご相談下さい。

応募締切: 2012年3月7日(水) 必着

※このプログラムは申込先着順ではありません。また、選考手数料はかかりません。

応募書類送付先:

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-22-14 ミツヤ虎ノ門ビル 7F

公益財団法人 AFS 日本協会「TOMODACHI サマー2012 英語研修プログラム」係

2) 選考および結果通知: 応募書類をもとに AFS 日本協会が書類審査を行います。審査後、応募者全員に対し、AFS 日本協会より結果通知をお送りします。

3) 渡航手続(6 月): 当協会指定の旅行代理店*から、渡航手続に関するご案内を送付致します。

*2012 年 2 月現在、(株)JTB 法人東京を予定しております。

4) 最終案内(出発 7~10 日前): 指定の旅行代理店から、最終渡航案内をお届けします。

5) 出発前オリエンテーション: アメリカでの滞在やプログラムに関する情報を、逐次、メールや郵送等でお送りいたします。また、出発前に、滞在中の諸注意や渡航に関する出発前オリエンテーションおよび保護者オリエンテーションを実施します。

6) 出発~帰国: 参加者は全員成田空港での集合・解散となります。

7) 帰国後: レポートを提出していただきます。

6. Q & A

★病気、事故、怪我をした場合の治療費は？

AFS では、プログラム参加中の AFS 留学生の医療費をまかなうために、二次的な保険に加入していますが、皆様には別途海外旅行保険に加入していただくことをおすすめしています。

★緊急時のサポートはどうなっていますか？

AFS では、災害、事故、傷害、疾病などの緊急時に適切な処置がとれるよう、世界各国共通の基準を設けています。緊急時には事務局職員とボランティアが連携して 24 時間体制で対応にあたります。

★滞在期間を延長することはできますか？

プログラム実施期間が定められていますので、滞在期間の変更はできません。

★滞在中、日本人引率者が同行しますか？

原則として同行しません。受入国の AFS が責任をもってお世話をします。参加生の皆さんにも、日本の代表として、責任ある行動や、自らの状況を英語で伝えようとする意欲と姿勢が求められます。

★健康診断と予防接種は必要ですか？

渡航前に健康診断書の提出、予防接種が必要となります。

7. お問い合わせ先

公益財団法人 AFS 日本協会 プログラム本部 短期派遣担当
TEL 03-6206-1913 FAX 03-3507-4300 (土日・祝祭日除く 9 時～17 時)

関係中学・高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程
学校長、担当教諭 各位

公益財団法人AFS日本協会

推薦書作成についてのお願い

公務ご多忙とは存じますが、下記の要項に沿い、貴校学校長の推薦書を作成していただきたくお願い申し上げます。

—記—

1. 被推薦資格

- (1) 学校長から推薦されること
- (2) 心身共に海外体験プログラムに耐えうる状態で、留学先での生活に適応できること
- (3) 異文化体験に興味があり、意欲と柔軟性があること
- (4) 外国語習得に興味があること
- (5) 留学先での集団研修に取り組む意欲があり、かつ協調性があること
- (6) 自分の長所・短所を認識し、自分の能力を信じ、新しい事に挑戦できること
- (7) 人前でもくつろげ、問題に直面した時、自分の感情や考えを信頼できる人々と分かち合えること
- (8) 英語である程度現地の人々とコミュニケーションできること

2. 推薦方法・提出方法

所定の推薦書の作成をお願いします。

ご記入後、応募者本人に厳封の上お渡しく下さい。最終合否の判断資料の際の重要な資料となります。
複数応募の場合は、同封の推薦書をコピーしてご使用ください。

以上

年 月 日

公益財団法人 AFS 日本協会 御中

学 校 名 :
所 在 地 : 〒

学 校 長 名 :

学校長
印

推薦書

「TOMODACHI サマー2012 英語研修プログラム」に示された応募資格のすべてを満たす者として本
学在学中の下記の者を推薦いたします。

記

生徒氏名 : _____

生年月日 : _____ 19 ____ 年 ____ 月 ____ 日生まれ

学科/学年 : _____ 科 ____ 年

2011年度の欠席日数 : _____ 日

特記事項 : _____

記入者名 : _____

以上



ようこそAFSへ！

AFS では、TOMODACHI サマー2012 英語研修プログラムの他に、
こんなプログラム・活動も行っています

□年間留学プログラム

1 学年間の留学プログラムでは、約 40 の国と地域から派遣先が選べます。長期留学では、現地のホストファミリーや友達はもちろん、世界各国から集まった留学生と交流し、同じ外国人としての悩みを分かち合い、互いの理解や絆を深めるという貴重な経験のチャンスもあります。

□短期留学プログラム

AFS の短期留学プログラムは、オーストラリア・カナダ・アメリカ・韓国でボランティアのホストファミリーにホームステイ、または寮に滞在しながら異文化や語学を学ぶ、高校生向けの留学プログラムです。

□ホストファミリー

約 50 の国・地域から来日する海外の高校生を、ボランティアで家族の一員として受け入れ、日常生活をともにします。短期、長期などさまざまなプログラムがあります。

□ボランティア活動

社会人ボランティアは全国約 70 支部で、留学生、ホストファミリー、ホストスクールのサポート、イベントの企画・運営、選考試験などの手伝いをします。大学生ボランティアは主にイベントやオリエンテーションの企画・運営を行います。

興味のある方は当協会までお問合せください。

公益財団法人 AFS 日本協会
TEL 03-6206-1911(代表)
E-mail info@afs.or.jp
WEB サイト <http://www.afs.or.jp/>



AFS 短期派遣
TOMODACHI サマー2012 英語研修プログラム

発行年月日 2012年2月1日

発行 公益財団法人 AFS 日本協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-22-14 ミツヤ虎ノ門ビル 7F
TEL : 03-6206-1911 (代) FAX : 03-3507-4300

東日本事務所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-22-14 ミツヤ虎ノ門ビル 7F TEL: 03-6206-1915 FAX: 03-3507-4300
名古屋事務所 〒468-0051 愛知県名古屋市天白区植田 1-2116 TEL: 052-807-7338 FAX: 052-807-7349
大阪事務所 〒564-0027 大阪府吹田市朝日町 3-405 TEL: 06-6317-3955 FAX: 06-6317-3977